

更級日記の主題と近江

—源氏物語成立の年に生まれた女性の日記—

『源氏物語』が成立したと思しき1008年に生まれた菅原孝標の娘が記した『更級日記』を紐解きたいと思います。約40年分の日記のテーマは何だったのでしょうか。また、滋賀県とも関係は深く、13歳の頃に近江国で数日を過ごし、38歳の時に石山寺に詣でました。第1回では日記のテーマに迫り、第2回では滋賀県との関わりについて読み解き、最終回は逢坂関跡へ文学散策を行います。

1 日記の想い：源氏物語への憧れと仏教

菅原孝標の娘は本当に「物語」が好きだったのか、『更級日記』で伝えようとしたものは何だったのか、その魅力に迫ります。

10月25日(日) 10:00~12:00

2 近江への想い：若き日の旅路と石山寺参詣

2026年から遡ること1018年前、上総国(千葉県)の役人だった父の任期が終わり、13歳の冬に家族で上洛する途次で近江国を通過、38歳で石山寺へ参詣することを記す内容から、当時の滋賀、逢坂へと思いを巡らせましょう。

11月15日(日) 10:00~12:00

3 文学散歩：逢坂の関跡を訪ねて

山城国(京都)と近江国(滋賀)の国境で多くの和歌に詠み込まれた逢坂、蟬丸神社を散策します。 *バスツアー

11月29日(日) 9:00~12:00

行先：逢坂の関跡(滋賀県大津市大谷町 22)

【講師】 滋賀文教短期大学 国文学科教授 池田 大輔 さん

【会場】 エルセンター 学習室 【受講料】 1,500 円 (3回連続講座)

【対象】 市内在住・在勤・在学の高校生以上

【定員】 先着 25 名 *定員になり次第締切り 【持ち物】 筆記用具、飲み物

【申込み】 **9月16日(水)~30日(水)** 午前9時~午後4時45分

電話または直接エルセンター窓口にて受付け
*火曜日休館(但し9/22開館、9/24休館)
エルセンター 電話 077-583-5558

